

引き寄せる。「金儲け」の場合、初めに「金銭」を表わす。

申訳 「弁解」と同じ。

燃える 「火」と同じ手まね。

もう一度 改めて—また。

目的 「考え」或は「行く」などの手まねをして、次に、五指の指頭を右にさし掌を内側に向けた左手をかなり前方に位置させて、その左手に向って、指頭を直角にさした右手の人差指を進ませて行く。

木曜日 握り拳にした両手の腕（下膊部）

Vを字形に交叉して拳をクルリと半回転させる。木の幹の股のねじれた様態を表現。

模倣 「真似」と同じ手まね。

若しも 「仮りに」と同じ手まね。

悶える 左右に交叉した両手の掌を胸にあ

て、悶える表情。

餅 左手掌の上で、右手で餅をまるめる身

振。

用いる 「必要」と同じ手まね。

勿論 「無論」と同じ、即ち「決まってい

る」

勿体ない 「大切」と同じ手まね。

最も 「初め」と同じ手まねをする。即ち五指の指頭を左にさし掌を下に向けた右手を右へ引くと同じに人差指を残して他の四指を折り曲げる。つまり「一」の数になる。

もつとも（真） 「ほんとう」と同じ。

尤も 「勿論」即ち「決っている」と同じ手まね。

元 「初め」と同じ手まね。

専ら 唯一つ——一生懸命。

物語 「話」と同じ、即ち「手まね」を表

わす。

桃 合掌した両手をそのまま甲をまるくふくらませて、桃の実の形を模写する。

紅葉 赤——葉。

木綿 「綿」の手まねをして、袖の上をさする（ざらざらした感じを出す）

貰う 両手を重ねて物を頂く身振。

森 「林」と同じ手まね。

漏れる 掌を上に向けて五指を彎曲した左手の下からこれも掌を上に向け五指を彎曲した右手を上下させる。左手（器物）の中から物が漏れる様。

門 「開く」「閉じる」と同じ要領の手まねで表わす。

問題 考え 相談 V 揭示。

ヤ

やがて 少し——未来。

野球 (1)左手の親指と人差指で輪にしたのを（ボール）右手人差指（バット）で打つ。

(1)両手でバットを持ち球を打つ身振。

役 「責任」と同じ手まね。

役員 「委員」と同じ手まね。

妬く 「嫉妬」「猜む」と同じ手まね。

厄介 「面倒」と同じ。

役者 芝居——人。

役所 「政治」と同じ手まね。

約束 両手の小指を結び合わせて「指切り」をする。

役目 「責任」と同じ手まね。

野心 (1)がめつい——心。(1)「野心作」傑作——工夫。(1)野心を持つ。偉い人 金持 V なる——考える。

優しい 心——やわらかい。

安い 「金銭」を表わしたそのままの手を下にさげる。

易い 「簡単」或は「へちやら」と同じ手まね。